

古河赤十字病院を報誌



2019. Spring
Vol. 30



ご自由にお持ち下さい
Take Free

雪華の由来

古河藩主・土井利位が刊行した「雪華図説」にちなみ、当院と地域の繋がりをこの誌名に込めています。



茨城県シミュレーションセミナーを開催

- ★ 院長、看護部長 就任のご挨拶
- ★ 事務部長から地域の皆様へ
- ★ 患者サポートセンターのご案内



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

古河赤十字病院



人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

院長就任のご挨拶



古河赤十字病院
院長 小山 信一郎

= 経 歴 =

日本大学医学部出身
前自治医科大学附属さいたま医療センター副センター長
前自治医科大学総合医学第一講座主任教授
自治医科大学客員教授

= 認 定 医 =

日本内科学会認定内科指導医
日本呼吸器学会認定呼吸器指導医
日本アレルギー学会認定指導医
日本がん治療認定医療機構暫定教育医
日本結核学会結核・抗酸菌認定医
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会認定呼吸ケア指導士

このたび4月1日付けで古河赤十字病院院長職を拝命致しました小山でございます。

私は、昭和56年に日本大学医学部を卒業し、以来様々な医療機関で医師として勤務してきました。平成13年には、当時の自治医科大学附属大宮医療センター（現在のさいたま医療センター）に呼吸器科講師として赴任し、この3月末日まで、さいたま医療センター副センター長、総合医学第一講座主任教授を務めていました。そこでの18年間は、医師としてだけでなく、病院経営、医師の働き方改革、地域の感染症ネットワークなどマネジメントを含めて、仕事を行ってきました。今後さいたまでの経験を古河赤十字病院で活かしたいと思います。

茨城県は、35年以上前に常陸大宮で半年間働いた経験はありますが、古河で働くのは初めてです。古河は、歴史ある町であり、古河赤十字病院も昭和27年に猿島診療所から始まり、歴史ある沿革をもっています。さらに古河赤十字病院は、日本赤十字社としての仕事だけでなく、地域医療支援病院、災害拠点病院として地域に根ざした病院としての機能を有しています。古河赤十字病院が今あるのは、地域の皆様からのご支えと、歴代の職員が築きあげてきた信頼によるものであり、この由緒ある病院をさらに発展させなければならないという重責を感じています。

スペインにサグラダ・ファミリア（聖家族教会）という教会があります。1882年にアントニオ・ガウディという人により設計され、工事が始まりましたが、いろいろな理由でいまだ完成されていません。しかし、未完成でありながらユネスコの世界遺産に登録されています。古河赤十字病院は、サグラダ・ファミリアのような「完成された」施設を目標としていつまでも完成しないのは困りますが、日進月歩の医療業界にあって常にバージョンアップをしながら最善の医療が提供できる病院を目指したいと思います。

古河赤十字病院は、自治医科大学から医師派遣等において多くの援助をいただき、密接な関係を築いています。そのような関係を基に、本院には自治医科大学古河地域臨床教育センターが併設され、自治医科大学の医学生や研修医の臨床研修および教育を行っています。将来の医師を育てるのも古河赤十字病院の大切な仕事であります。

今後微力ではありますが、古河赤十字病院の発展のために尽くしてまいりますので、医療機関の皆様、患者の皆様のご協力をお願い申し上げ、院長就任のご挨拶とさせていただきます。

看護部長就任のご挨拶

陽春の候 いかがお過ごしでしょうか。

このたび、古河赤十字病院の看護部長に就任いたしました佐伯久美でございます。このような大役を仰せつかるには、誠に微力でございますが、前任の小林看護部長をはじめとする諸先輩方、地域の皆様のご助言ならびにご協力を仰ぎながら、この任務を果たして参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本院は、平成22年5月に現在の下山町へ新築移転し、「地域医療支援病院」として地域の開業医の先生方や在宅医療関連施設の方々と連携し、地域医療に努めて参りました。また、超高齢社会に対応すべく「地域包括ケア病棟」や「認知症疾患医療センター」を設置し、本年度からは「古河市在宅医療・介護連携支援センター事業」の一部委託を受けることとなりました。本院では、急性期医療の充実を図るとともに、健康生活支援講習をはじめとする赤十字の各種講習も含め、在宅ケアの支援強化に取り組んでいるところでございます。

本院の看護部理念は「思いやりのある看護を通し、患者様との信頼関係を築きます」です。これは、“人を大切にする”という赤十字の人道に基づいています。今後も地域の皆様に寄り添う看護を大切に、地域で必要とされる医療・看護を見据えた体制整備と、専門性の高い看護師育成に尽力して参ります。



看護部長
佐伯 久美

事務部長から地域の皆様へ

古河赤十字病院は、昭和27年に日本赤十字社茨城県支部猿島診療所として開設以来、地域の皆様とともに60年余りの歴史を刻んで参りました。

その間、地域の皆様に信頼される病院を目指し、安全・安心な医療の提供、地域の医療機関との連携強化などを基本方針に病院運営を行っております。

高度先進医療では関連の深い医科大学病院と連携しており、地域の医療機関とは紹介患者様の受入れなど連携を強化して

おります。また、救急患者様の受入れ、健診事業の実施、高齢化社会に向け認知症に係る相談や物忘れ外来など地域の皆様の健康を守るため、職員一丸となって安全・安心で質の高い医療の提供に努めております。さらに本年、患者様やご家族の方が心配事や困り事を気軽に相談できる窓口として、患者サポートセンターを設置いたしました。

赤十字病院の使命として、自然災害時のDMAT派遣・救護活動を行っており、近年では、関東・東北豪雨や熊本地震の際に被災地での救護活動を行いました。

当院は、皆様の健康を守る地域医療支援病院として、また、災害時の災害拠点病院として地域のお役に立ちたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い致します。



事務部長
沼尻 憲

未来のために、いま備える。

地震や豪雨など、さまざまな災害が襲う日本。
これから先も必ず起こる大災害。
日ごろから備えの大切さに、気づき、考え、実行することが、自分を、そして大事な人たちを災害から守ります。
日本赤十字社は、防災教育や防災セミナーなどを通じて、防災・減災の重要性を説き続けています。

未来のために、いま備える。



2011年 東日本大震災 当院の救護班活動



被災地での巡回



診療中の本間副院長



診療中の山田医師



手当をする看護師

茨城県シミュレーションセミナーを開催

平成30年度シミュレーショントレーニング事業として茨城県よりSimMan 3 G（高機能患者シミュレーター）を巡回させていただき、1月19日には、シミュレーション教育の指導者を養成することを目的としたセミナーを開催しました。

*セミナーの目標

- ①東京医大 阿部教授監修のシナリオに基づくシミュレーション教育を行い、最新機器を用いてチーム医療の向上を図る。
- ②県内にシミュレーションの指導者を養成し、県内でのシミュレーション事業確立を目指す。セミナーを受講するだけでなく、今回の受講者が講師となって院内で研修会を開催し、県内にシミュレーションのプロを多く輩出させる。

当日は、東京医科大学シミュレーションセンターの先生方の指導の下、医師をはじめとする当院の職員12名が参加し、(※)シミュレーション教育の基本を講義で学びました。また、シミュレーターを使用して、実際に急変症例に対応する体験をおこないました。

(※)シミュレーション教育：模擬的な状況の中で医療を経験し、最善の医療を実践するにはどのような専門的な知識・技術・態度を備えていなければならないのかを、ディスカッションを中心に、関連資料を活用したり、指導者からのフィードバックを参考にしながら医療者としての能力を向上していく教育。



グループごとに指導の練習



講師の先生と、指導を受ける当院の職員



SimMan 3 G（高機能患者シミュレーター）を用いて実践

当院は、敷地内含め全館禁煙です。

トイレ、ベンチ、駐車場…病院敷地内での喫煙はNG!

当院は、敷地内および全館禁煙です。地域のみなさまの健康を守るため、ご協力をお願い致します。



社会福祉士、精神保健福祉士が 皆様の手助けをさせていただきます。

社会福祉士や精神保健福祉士は、総合病院などの医療機関をはじめ、行政機関（県庁、役所、福祉事務所、保健所など）や社会福祉施設、社会福祉協議会、学校など、さまざまな職場において社会福祉業務に携わっています。

★社会福祉士は、福祉系国家資格（社会福祉及び介護福祉法）の名称で、福祉全般に関する相談に対して助言や指導、援助を行います。

当院では、「患者サポートセンター」に所属する社会福祉士が医療ソーシャルワーカー（MSW）として、患者さまが安心して治療を受けられるように援助するほか、必要に応じて入院患者さまの転院調整や、退院後の在宅サービスとの連携など、さまざまな課題に対する相談援助を行っています。

★精神保健福祉士は、福祉系国家資格（精神保健福祉法）の名称で、精神医療保健に関する相談援助を行います。

当院の精神保健福祉士（PSW）は、主に認知症疾患医療センターの窓口として認知に関するさまざまな相談を電話や面接で受け付けています。

また「もの忘れ外来」受診後の患者さまやご家族に対して療養計画書（専門医による鑑別診断と初期治療の方針）の説明などを行っています。



「患者サポートセンター」又は
「認知症疾患医療センター」
までお問い合わせください。



認知症疾患医療センター
元井社会福祉士・精神保健福祉士

入社して1年経ちました。～臨床工学技士として活躍中～



佐久間臨床工学技士

（出身地）古河市

（担当職種を志した理由）

現在の治療に欠かせない医療機器を、患者さまに安心して使用していただくために必要な技術職であると考えたためです。

（1年間仕事に携わった感想）

学生時代とは異なり、実際に医療機器を使用している患者さまの機器操作は、ボタン1つで楽にも危険な状態にもできます。入職当初は強い緊張感の連続でしたが、先輩方の丁寧なご指導のもと観察点の視野が広がりました。対応も少しずつ柔軟に行えるようになり、適度な緊張感の中でやりがいを持って業務ができています。

（今後の目標や夢）

医師や他職種と治療について話し合い、より良い医療を提供できる確かな知識と技術を身につけていきたいです。

（患者さまに一言）

安心、安全な医療を提供できるよう、日々努力して参りますので宜しくお願い致します。

（出身地）栃木県小山市

（担当職種を志した理由）

現代医療には欠くことのできない工学と医療を結びつける唯一の職種であり、チーム医療の縁の下での力持ちとして患者さまの生命を預かる重要な仕事に魅力を感じたためです。

（1年間仕事に携わった感想）

患者さまの急変や機器のトラブルなど臨機応変な対応が求められ大変でしたが、優しい先輩方にご指導頂き楽しく仕事をさせていただいています。

（今後の目標や夢）

数多くの医療機器を扱うため、日々努力をして安全な医療を患者さまに提供できる臨床工学技士になりたいと思います。

（患者さまに一言）

安全な医療を提供できるように日々努力し続けていきますので宜しくお願いします。



坂本臨床工学技士

臨床工学技士とは

医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作（生命維持管理装置の先端部の身体への接続又は身体からの除去であって政令で定めるものを含む。）及び保守点検を行う医療機器のスペシャリストです。医師その他の医療関係者との緊密な連携を図り、適正な医療の確保に努めています。

＊「生命維持管理装置」とは、人の呼吸、循環又は代謝の機能の一部を代替し、又は補助することが目的とされている装置をいいます。

腎臓のおもなはたらき

- ・尿をつくりだす
- ・赤血球をつくる
- ・血圧を調整する（血圧を上げる物質と下げる物質の両方をつくりだす）
- ・カルシウムの吸収を増加させるビタミンD3を活性化する 等。

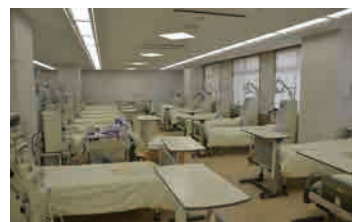
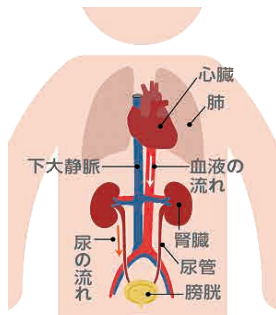
腎臓は、体にたまった老廃物や余分な水分を尿として体の外へ排泄します。その腎臓の動きが段々悪くなり、正常な状態に戻らなくなることを慢性腎不全といいます。

慢性腎不全では、老廃物や水分を体外に出すことができなくなります。

透析療法とは

腎臓の動きが10%以下になると、血液のろ過が充分に行えず、水分や老廃物のコントロールができなくなり、腎臓の障害が進行すると元の機能を戻すことは難しく、人工的に血液の浄化を行うのが透析療法なのです。

人工透析では人工透析装置を使用することで、悪くなった腎臓の代わりに体内にたまった老廃物や余分な水分を体外へ排泄させます。



当院の透析センター



『患者サポートセンター』のご案内

平成31年1月より地域医療連携室が1階に移り『患者サポートセンター』に名称を変更いたしました。

これまで、2階に相談窓口があったため、大変なご不便をおかけしておりましたが、この度、1階に開設したことにより、患者さまやご家族からも相談しやすくなったとの声が聞かれております。

“不安なこと、分からないことがあれば『患者サポートセンター』”というような相談窓口を目指していきたいと考えておりますので、お気軽にご利用いただけるよう皆様のご来訪をお待ちしております。

患者サポートセンター

患者さまやご家族の様々なご相談に対応しています。
(平日) 午前8:30～午後4:30
(第1,3,5土曜日) 午前8:30～ 正 午

＊ご相談がある方は、各窓口にお声をおかけください。

- 相談対応者 看護師、ソーシャルワーカー等
- 相談内容
 - ・疾患に関する医学的な質問
 - ・生活上及び入院上の不安等
 - ・退院後の生活に関すること
 - ・地域の医療機関に関すること等



地域を
結ぼう

かかりつけ医紹介

地域の先生方はともに地域の健康を支えてくれる心強いパートナー。このコーナーでは日々当院と交流のあるかかりつけの先生方を紹介します！今回は『内田耳鼻咽喉科医院』を訪問しました。

内田耳鼻咽喉科医院



紹介文

当院は、患者様が安心してかかる医院を目指しており、スタッフ一同優しく親切な対応を心がけております。インフルエンザ等感染の恐れのある患者様には隔離室を用意、小さなお子様には小さいながらキッズスペース、トイレにはオムツ換えベッドを用意しております。またインターネット予約や電話予約は1週間前から24時間可能です。もちろん予約のない患者様にも長くお待たせしないよう対応致しておりますので、安心してご来院下さい。

古河赤十字病院へのメッセージ

特に耳鼻咽喉科の先生には手術の必要な患者様、当院で出来ない検査、入院の必要な患者様等大変お世話になっております。そのほか小児科、脳神経外科、外科、内科等広くお世話になっております。またCTやMRIの撮影等いつもご丁寧なご対応、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

基本情報

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ●院 長：内田 潔(先生) | ●診療科：耳鼻咽喉科 |
| ●住 所：古河市中央町2-3-17 | ●診療時間：午前8:45～12:00 午後3:00～6:00 |
| ●電 話：0280-22-0431 | ●休診日：水曜日、日曜日、祝日、年末年始
盆休み |



古河赤十字病院

病院理念

思いやりの心を大切に、皆さまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 安心・安全な医療を提供します。
2. 地域の医療機関との連携強化に努めます。
3. 災害時の救護・医療社会活動に積極的に参加します。
4. 赤十字職員としての誇りと責任を持って生き生きと働ける病院にします。

紹介・逆紹介を推進しています

■紹介状を持参した場合、選定療養費2,500円(2019年5月1日現在)の請求はありません。

「かかりつけ医」からの 紹介状をご持参ください。

「選定療養費」
2,500円は不要!

初診でも予約可!
(科により異なります)

専門的な治療が可能!



「紹介状」持参の方は
「紹介受付1番」までお申し出ください。
担当者がご案内させていただきます。

「かかりつけ医」からの紹介状を持参して **+** 古河赤十字病院を受診した時のメリット!

☆ 初診時の「選定療養費」2,500円が不要

「選定療養費」とは、「初期の治療は地域の医院・診療所などで、高度・専門医療は病院(200床以上)で行なう」という、医療機関の機能分担の推進を目的として厚生労働省により制定された制度です。これに伴い、当院でも他の医療機関等からの紹介状をお持ちでない初診の方については、初診料の他に選定療養費として別添2,500円(消費税込み)をご負担いただいております。

☆ 初診でも予約が可能(科により異なりますのでお問い合わせください)

☆ 円滑な治療の対応が可能

☆ 検査・診断結果を「かかりつけ医」と連携し適切な医療の提供が可能



お問合せ: 予約センター ☎0280-23-7117(直通)

+ 古河赤十字病院

当院では、第2次救急医療機関、災害拠点病院等の指定、地域医療支援病院の承認を受け、急性期医療を中心とし、連携機能を果たすべき役割が **国の方針** で求められています。

時間外選定療養費を導入しています

当院では、夜間休日に緊急外来を受診された初診の患者さんに対し、診療費とは別に「時間外選定療養費」をご負担いただいております。

- 対象者: 夜間・休日に緊急外来を受診を希望される方(夜間:午後5時~翌朝午前8時、休日:終日)
- 金額: 2,500円(税込)

※緊急・重傷で入院治療を必要とされる方など、時間外の特別料金の対象とならない場合もございます。
※時間外選定療養費はできる限り患者様に時間内受診を心がけていただき、一刻を争う緊急重態な患者様を最優先に診療することを目的として導入されたものです。
引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

小児科救急診療のお知らせ

● 2019年度 当院当番日 ●

6月 ▶ 7日(金) 14日(金) 16日(日) 21日(金) 28日(金)

7月 ▶ 5日(金) 12日(金) 14日(日) 19日(金) 26日(金)

8月 ▶ 2日(金) 9日(金) 11日(日) 16日(金) 23日(金) 30日(金)

● 診療時間 午後6時~午後11時 ●

(注)赤色日は、昼間の当番となります。

● 診療時間 午前9時~午後4時 ●



- ★小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。
- ★受診される際は、必ず事前に電話でご相談ください。
- ★お薬手帳をお持ちの方はご持参下さい。
- ★詳細は、古河市ホームページをご覧ください。

茨城県救急医療情報システム (HPより引用)

子ども救急電話相談

お子さんが急な病気で心配なとき、ご相談ください。看護師がお答えします。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から短縮ダイヤル **#8000**

すべての電話番号から
03-5367-2367

24時間365日対応



おとな救急電話相談

急な病気で心配なとき、ご相談ください。看護師がお答えします。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から短縮ダイヤル **#7119**

すべての電話番号から
03-5367-2365

24時間365日対応



「茨城県救急医療情報システム」のホームページ内にある「小児輪番検索」から、休日や夜間の子どもの急病時に対応している医療機関を探ることができます。<http://www.qq.pref.ibaraki.jp/>

外来医師勤務一覽表

2019年5月1日現在

医療機関様へ
(※1)のご紹介は受付しておりませんので
地域医療連携室までご相談ください。
☎0280-23-7090 (直通)
(※2)脳神経外科「機能外科」は予約制です。

診療受付時間 8:00~11:30(一部科除く) 第2・第4土曜日:休院

◆担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
一般内科 (もの忘れ外来)	初診 及び予約なし	午前 初診担当医	初診担当医	初診担当医	初診担当医	初診担当医	初診担当医
内科	再診 (直接のご予約は できません)	午前 青木(弘)・中山	勝木	—	金子	—	青木(弘)
		午後 青木(弘)・中山	勝木	—	金子 中神(ペースメーカー) 第4木曜日[午後2:00~]	—	
		午前 櫻井(祐)	大橋	—	高岡	—	磯田(肝疾患)
		午後 —	大橋・大和田	—	—	—	
		午前 岡田	—	—	本間	(※1) 岡田	—
		午後 —	—	—	本間	(※1) 本間	
		午前 —	—	—	—	山崎	山崎
		午後 —	—	—	—	山崎・勢川	
		午前 中澤	高崎	小山	—	—	—
		午後 —	齋藤	石井	築瀬	—	
		午前 —	—	—	片山	鈴木(雅)	—
		午後 —	池口	片山	—	—	
		午前 —	(※1) 山本	(※1) 森田	—	—	—
		午後 —	(※1) 山本	(※1) 森田	—	—	
外科	再診	午前 —	石澤	(※1) 岩本	—	—	—
		午後 —	担当医	担当医	—	—	—
		午後 担当医	担当医	担当医	関口	—	
		午前 近藤 高橋(礼)	近藤	近藤 目黒	櫻井(秀) 森嶋	目黒 櫻井(秀)	近藤 高橋(礼)
		午後 担当医	坂野	坂野	—	高澤 (午前10:00~午後1:30)	—
		午後 坂野	—	—	—	—	
		午前 大野 山中	—	大野 鰐坂	黒田 安達	大野 中島	大野
		午後 —	—	小林(2・4週)	—	—	
		午前 —	—	信太	—	青木(絢)	—
		午前 山田 篠田	篠田	橋本 (※2) 横田(英)	横田(英)	檜垣	山田(1週) 横田(3・5週)
		午後 中島・別井	臼井・自治医大担当医	中島・別井	中島・臼井	別井・臼井	中島・別井
		午後 予防接種	専門外来 予防接種	専門外来 乳児健診	担当医	専門外来	
		*小坂(小児神経)【第一金曜日午後】注:他院紹介及び当院小児科医師からの紹介のみ					
		午前 杉原	遠藤	松崎受付10:30迄	中條	遠藤	遠藤
		午後 —	—	大島/小西[隔週交代]	—	—	
泌尿器科	初診・予約	午前 杉原	遠藤	松崎受付10:30迄	中條	遠藤	遠藤
	受付 午後0:30~3:30 診療 午後2:00~	午後 —	—	大島/小西[隔週交代]	—	—	
眼科	電話予約なし	午前 高橋(良) 木村(麻)	横田(法)	高橋(良) 横田(法)	十亀	高橋(良) 案浦	高橋(良)
	完全予約制	午後 高橋(良) 木村(麻)	高橋(良) 横田(法)	高橋(良) 横田(法)	—	高橋(良) 自治医大派遣医師(第1週)	
ペインクリニック (電話予約なし)		初診 11:00迄	午前 加瀬(11:00迄)	—	—	加瀬	—
婦人科	(金・土) 受付 10:30迄	午前 —	—	乗杉	—	松原 完全予約制 紹介患者様のみ	松原 完全予約制 紹介患者様のみ
	(月・水曜日のみ) 午後1:00~3:00	午後 指田	—	乗杉	—	—	
皮膚科		午後 自治医大派遣医師	—	—	—	自治医大派遣医師	
耳鼻咽喉科	完全予約制	午前 石田	—	石田	—	—	石田
	紹介患者様のみ	午後 石田	—	石田	自治医大派遣医師	自治医大派遣医師	
緩和ケア科		午後 —	—	近藤	—	—	—

予約センター(直通) TEL 0280-23-7117 平日 午前8:00~午後 4:00 (当日診療予約受付 10:30迄)
第1・3・5 土曜日 午前8:00~ 正 午

認知症疾患 (直通) TEL 0280-23-7121 平日 午前8:30~午後 4:00 (認知症のご相談を、お受けしています。)
医療センター 第1・3・5 土曜日 午前8:30~午前11:30